

船稅取扱心得書別紙ノ通相定△此旨相達ス
(別紙)

船稅取扱心得書

第一條 西洋形蒸氣船並ニ日本形積石五拾石以上ノ船
鑑札ハ第一號雜形ノ通日本形積石五拾石未滿ノ船並
ニ解漁船小廻船遊船ノ鑑札ハ第二號雜形ノ通記入下
付スヘシ

但假鑑札ハ鑑札上ヘ假ノ字ヲ記入スヘシ

第二條 諸船鑑札ハ豫メ授與スヘキ員數ヲ見積リ郡區
長ヨリ收稅長ヘ宛テ請求スヘシ

第三條 噸數ハ一噸積石數ハ一石間數ハ一間ニ止メ其
以下端數ハ切捨ツヘシ

第四條 規則第三條ニ據リ檢査ヲ爲シ假鑑札ヲ付與シ
タルトキハ其旨定繫場所在郡區役所管外ヲニ通知スヘ
シ又其通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其地ノ船籍ヘ編入
シテ該期ノ稅金ヲ收入シ追テ本鑑札引換相渡シタル
上最前通知ノ郡區役所管外ヲニ報道スヘシ
但西洋形船舶ハ農商課ノ通知ニヨリ本條ノ手續ヲ
爲スヘシ

第五條 船舶賣買讓與其他ニテ定繫場變換シ其新舊定

繫場甲乙兩郡區役所管内外ヲ云ニ交渉スルトキハ乙郡區役所ニ於テ其地ノ船籍ニ編入鑑札引換相渡シタル上ハ直チニ甲郡區役所ニ報道スヘシ

但西洋形船舶ハ農商課ノ通知ヲ得テ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 前二條ノ手續ニ依リ鑑札引換ノ節ハ更ニ該船ノ檢査ヲ要セス舊鑑札若クハ假鑑札ニ記載ノ噸石數又ハ間數等ニ據ルヘシ

但其返納セシ舊鑑札假鑑札ハ不取締無之様消却シ最初下付シタル郡區役所へ返戻ニ及ハス

第七條 舩漁船小廻船ハ積石數五拾石以上ト雖モ總テ其間數ニ依リ課稅スルモノトス

第八條 西洋形及日本形船舶ニシテ惣數一噸又ハ一間ニ滿タサルモノハ總テ一噸一間ト見倣シ課稅スルモノトス

但鑑札面ハ一噸又ハ一間未滿ト記載スヘシ

第九條 鑑札受拂ハ第三號雜形ニ倣ヒ一ケ年分調製翌年四月十五日限收稅課へ送付スヘシ

第一號雜形

海岸又ハ何河(湖岸)ト書スルモノハ郡區ノ下其町村ヲ記スヘシ第二號離形亦同
日本形船ハ何石積日本形船ト記スヘシ
木札寸法曲尺五寸堅幅三寸厚サ及ヒ木品適宜

表 面

第何號

船鑑札

何國何郡

定繫場

何海何岸

何噸積西洋形

蒸氣船

何風帆

何國何郡何村番地

何ノ誰

裏 面

鑑札下付ノ年月日第二號離形亦同

愛知縣

縣名印

應烙

明治何年何月何日

第二號雜形

木札寸法其他前ニ同シ

野漁船又ハ小廻船遊船ト記ス但日本形積石五拾石未滿ノ船ハ小廻船ト記スヘシ
一問未滿ノ船ハ一問未滿ト記スヘシ

表 面

第何號

何國何區郡

定繫場

何海何河何湖何岸

船鑑札

縣 廳

名 烙

印

何船

船梁ヨリ何間
船梁マテ

何國何區郡何町番地
何ノ誰

明治何年何月何日

第三號雜形

裏 面

白木

何區郡 明治何年度船舶鑑札受拂計算表

差引	計	拂			受		件名	大船	小船	計
		書換渡	再渡	新規渡	計	越				

右之通候也

明治何年何月何日

愛知縣取稅長宛

愛知縣郡區長

乙第四十三號

明治十九年六月廿五日

郡區役所

内國稅ノ内納期ヲ豫定シタル租稅ハ每納期其既未納ヲ
 詳查シ甲號書式ニ準シ報告書ヲ調製シ該納期限後廿五
 日以内ニ縣廳ヘ送付スヘシ此旨相達ス
 但報告后増減ヲ生スルトキハ乙號書式ニ準シ其時々
 之ヲ追報スヘシ

(別冊甲乙号書式畧ス)

乙第四拾四號

明治十九年六月廿五日

郡區役所

明治十九年六月六日大藏省令第二十一號印紙類賣下賣捌規則
取扱手續左之通心得ヘシ此旨相達ス

印紙類賣下賣捌規則取扱手續

第一項 印紙類賣捌所ノ配置ヲ計畫スルニハ從來賣捌
ノ景狀ニ依リ且土地ノ便否商況等ヲ參酌シ總テ印紙
ノ賣買ニ差支ナキヲ期シ稟議ノ上之ヲ定ムヘシ
第二項 印紙類ハ需用ノ景況ト現在高トナ參酌シ凡六

ケ月分賣下クヘク員數ヲ概算シ第一號雜形ニ做ヒ七
月十五日限リ收稅長ニ報告シ左ノ期限ニ據リ區長ノ
名印ヲ以テ之レヲ收稅長ニ請求スヘシ

但本文期限ノ外臨時請求ヲ要スルキハ其事由ヲ收
稅長ニ申報スヘシ

十月ヨリ 拂下ヘク分 九月五日限

三月ヨリ 拂下ヘク分 三月五日限

第三項 印紙類ノ受拂ハ主任書記二名以上ノ立會ヲ要
スルモノトス

第四項 印紙類到達ノ節ハ日數五日以内第二号雜形ニ

做七到達ノ月日ヲ記載セシ領收証書ヲ收稅課ニ送付スヘシ

第五項 印紙類賣捌所ノ標札ハ第三號雜形ニ據リ調製下付スヘシ但二種以上賣捌クモノハ各種類ヲ壹枚ニ併記スルモ妨ナシ

第六項 他府縣ヨリ轉籍又ハ寄留シタル者若クハ他郡區ヨリ轉居シタル者ニシテ印紙類ノ賣捌ヲ請願スルキハ規則第七條貳項ノ年限中ニ係ラサル者ナルヤ否及第廿一條ニ據リ禁止セラレタルコトナキヤ否ヲ詳查スヘシ

第七項 印紙類賣捌人與廢等ハ節々臺帳ニ記載シ置キ一ケ年ヲ二期ニ分テ第四號雜形ニ做ヒ十二月末日現在員ヲ取調ヘ七月五日限リ收稅課ニ送付スヘシ

第八項 印紙類賣下賣捌規則第十條但書ニ據リ印紙代金ノ延納ヲ許可スルキハ其抵當トナスヘキ公債證書ノ價格ハ明治十三年大藏省乙第一號達ニ據テ之ヲ定ムヘシ

但代金延納ヲ許可シタル時ハ第五號雜形ニ做ヒ賣捌人ヨリ上納ノ受書ヲ差出サシムヘシ

第九項 規則第十條但書ニ依リ延納ノ代金其收入方翌

年度ニ亘ル者ハ現収入年度ノ稅表ニ編入スヘシ

第十項 印紙類ヲ運送會社ニ運搬セシメタル分ハ到達ノ節社員等爲立會檢査ヲ遂ケ若シ損傷汚染或ハ護謨糊粘着等ニテ全ク使用シ得ヘカラサルモノヲ發見シタル時ハ社員ノ手續書ヲ徵シ之ニ其枚數調書ヲ添付シ處分方ヲ稟議スヘシ

但天災地變等ニ罹リタルモノハ本項手續書ニ社員外二名以上ノ證明ヲ爲サシムヘシ

第十一項 印紙類萬一封中ノ員數ニ過不足ヲ生シタルモノアル時ハ其封紙帶紙ニ立會官吏ノ姓名書ヲ添付

シ處分方ヲ稟議スヘシ

第十二項 印紙類ノ受拂ヲ爲シタル時ハ主任ニ於テ即日受拂及ヒ殘高ヲ記帳シ現在高ト對照スヘシ

第十三項 前項ノ場合ニ於テ主任書記交代スル時ハ帳簿ト現在高トヲ對照シ受渡ヲナスヘシ

第十四項 印紙類賣下賣捌規則第十七條ニ依リ返納セシ印紙(代金返納ニ係ルモノヲ除ク)ハ其種類(長角形ヲ區別シ)枚數及ヒ代金等明

細仕譯書ヲ添付シ其時々代金下付方ヲ稟議スヘシ

但代金納付ト印紙返納ト其時日年度ヲ異ニスル時ハ代金納入年度ノ區分ヲ立テ之ヲ稟申スヘシ

第十五項 印紙類受拂ノ實況及ヒ現在高等主任官派遣
精査セシムルヲアルヘシ

(第一號雜形)

朱字

前々年度賣下高何程
前年度賣下高何程

合何程

但平均一ヶ月
何程

(但前々年度前年度平均ヲ得ルコト能ハサルモノ)
(ハ前六ヶ月分ヲ記載スヘシ)

一何印紙

何枚

(印紙ノ異ナル毎ニ前同シ)

右ハ何年何月ヨリ何月迄六ヶ月分拂下

クヘク員數豫算及報告候也

年月日

郡長

印

收稅長宛

(第二號雜形)

何年月日差立 何年月日到着

領收證

一烟草何爰用何厘印紙

何枚

一全角形何厘印紙

何枚

一證券何錢印紙

何枚

諸印紙

紙用書證收領類

- 一 訴訟用何圖印紙 何枚
 - 一 賣藥角形何錢印紙 何枚
 - 一 全長形何錢印紙 何枚
 - 一 約束手形何錢用紙 何枚
 - 一 爲換手形何錢用紙 何枚
- 右領取候也
- 年月日 區郡 長印
- 收稅長宛

(第三號雜形)

面表

郡區役所々轄限リ通シ番號 曲尺長二尺九寸

第何號 烙印

何々印紙賣捌所

愛知縣何國何郡何村何番地

何 某

4>3>2

(第四號雜形)

用紙美濃紙

明治何年何月印紙類賣捌人員表

郡區分類	規則第五條ノ受恩者	規則第六條ノ受恩者	計	非恩典者	合計	前期ニ比較増減	朱書
	典者	典者					

百七十二

乙第四十五号

明治十九年七月五日

郡區役所

賣藥印紙買入鑑札ハ自今左ノ雜形ニ倣ヒ調製下付スヘ
シ此旨相達ス

(雜形)

木製 寸法堅巾二寸三分 横巾壹寸七分

表	番號
賣藥印紙買入鑑札	
愛知縣何國何區何町何番地	
賣藥營業人	
姓	名

裏	明治何年何月
郡區役所	
燒印	

乙第四十八号

明治十九年七月八日

郡區役所

本年二月木縣乙第七号達別冊報告表雜形中第廿一号廿六
号廿七号廿九号三十三号雜形本年度ヨリ別紙之通改正
ス此旨相達ス

合計	形角	區別	形角													用						
			八錢	六錢四厘	六錢	四錢八厘	四錢	三錢貳厘	三錢	貳錢四厘	貳錢	壹錢八厘	壹錢六厘	壹錢貳厘	九厘	八厘	六厘	四厘	三厘	貳厘	計	八錢
		越																				
		高																				
		受																				
		取																				
		他																				
		廢																				
		業																				
		其																				
		納																				
		計																				
		賣																				
		下																				
		高																				
		小																				
		計																				
		延																				
		納																				
		損																				
		傷																				
		交																				
		換																				
		其																				
		外																				
		損																				
		計																				

右之通候也

年月日

愛知縣收稅長宛

愛知縣何區郡長名印

右 這 類 牙

區 別	污損 交換	毀損 計	差 引 殘 高	污損 返 納	計	
					計	計
五厘						
壹錢						
貳錢						
肆錢						
五錢						
拾錢						
貳拾五錢						
五拾錢						
壹圓						
計						

右之通候也

年 月 日

愛知縣收稅長宛

愛知縣何區郡長名印

(第二十七号)

何區郡

明治何年度手形用紙受拂計算表

區 別	受				拂				計	延 納	損傷 交換	污 染
	越 高	受 取 高	賣 下 高	賣 下 高	賣 下 高	賣 下 高	賣 下 高	賣 下 高				
別	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約	約
壹錢												
貳錢												
肆錢												
八錢												
拾五錢												
貳拾五錢												
五拾錢												
計												

區別	毀損汚染		差引殘高		損傷返納
	約束	為換	約束	為換	
壹錢					
貳錢					
肆錢					
八錢					
拾五錢					
貳拾五錢					
五拾錢					
計					

右之通候也

年 月 日

愛知縣取稅長宛

愛知縣何區郡長名印

(第二十九號)

何區郡 明治何年度訴訟用印紙受拂計算表

區別	受越		拂			差引殘高	汚損返納
	受取高	越高	延納	高	下		
				百分九	百分八		
三錢							
五錢							
拾錢							
五拾錢							
壹圓							
五圓							
拾圓							
拾五圓							
貳拾圓							
計							

百七十七

年 月 日

愛知縣何區郡長名印

愛知縣收稅長宛

備 考

- 一 越高欄内ニハ前年度計筭表差引殘高ヲ記入スヘシ
- 一 受取高欄内ニハ其年度中本縣ヨリ受取タルモノヲ記入スヘシ
- 一 賣捌人廢業其他返納欄内ニハ印紙類賣下賣捌規則第十七條ニ依リ買戻シタルモノ及ヒ十九年二月當縣乙第十一號達ニヨリ買上ケタルモノヲ記

入スヘシ

- 一 賣下高各欄内ニハ印紙類賣下賣捌規則第十一條ニヨリ割引法ヲ以テ賣下ケタル者ヲ記入スヘシ
- 一 延納欄内ニハ印紙類賣下賣捌規則第十條但書ニヨリ延納ヲ許可シ其皆納期限翌年度ニ跨ルモノヲ記入スヘシ
- 一 損傷汚染交換欄内ニハ印紙類賣下賣捌規則第十條ニヨリ交換下渡シタルモノヲ記入スヘシ
- 一 毀損其外欄内ニハ區郡役所ニ於テ取扱ノ際毀損シ損失拂ノ儀聞届ケタルモノヲ記入スヘシ

一 損傷汚染返納欄内ニハ印紙類賣下賣捌規則第十
 六條ニヨリ交換返納シタルモノヲ記入スヘシ
 一 前各項ノ種目へ編入シ難キモノアル場合ニ於テ
 ハ受入レタルモノハ受ノ部へ拂出シタルモノハ
 拂ノ部へ一畫ヲ設ケ記入スヘシ
 一 本年四月一日ヨリ六月三十日マテ賣下ケタルモ
 ノハ本年度ニ限リ拂ノ部へ一畫ヲ設ケ記入スヘ
 シ

告第二十九号

明治十九年二月十三日

他府縣ノ者ニシテ青森縣下ニ於テ營業若クハ行商スル

モノハ該縣地方稅規則ニ據リ自今相當稅金徵收候旨同
 縣ヨリ通報アリ

右告示ス

告第三十九号

明治十九年二月廿三日

静岡縣下ニ到リ寄留若クハ六十日以上滞在シ遊藝師匠
 遊藝稼人相撲行司俳優等ノ營業ヲ爲スモノ
 鹿兒島縣下ニ到リ寄留ヲ爲サス地方稅課稅ノ營業ヲ爲
 スモノハ仮令本籍地ニテ納稅セント否トナ問ハス
 前記ノ者明治十九年度ヨリ其縣々ノ規則ニ據リ相當稅
 金ヲ徵收セシムヘキ旨兩縣ヨリ通知アリ

右告示ス

告第五十一号

明治十九年三月廿六日

本縣告第二十九号ヲ以テ他府縣ノ者ニシテ青森縣下ニ於テ營業若クハ行商スルモノハ税金徴収云々及告示置候處行商又ハ遊藝稼人相撲俳優等ニシテ鑑札ヲ携帯スルモノヘハ課税セサル旨尙又該縣ヨリ通報アリ

右告示ス

告第五十二号

明治十九年三月廿七日

他府縣ノ者ニシテ福島縣下ニ於テ營業若クハ行商スルモノハ該縣地方税規則ニ據リ十九年度ヨリ相當税金徴

収候旨同縣ヨリ通報アリ

右告示ス

告第六十五号

明治十九年四月廿三日

本年二月告第三十九号ヲ以鹿兒島縣下ニ寄留ヲ爲サス地方税課税ノ營業ヲ爲スモノハ本籍地ニ於テ納税セシト否トニ關セス明治十九年度ヨリ該縣規則ニ據リ課税スヘキ旨通知ノ趣告示及ヒ置候處今般本籍地ニ於テ納税シタル證左ナキモノニ限リ課税スヘキ旨更ニ該縣ヨリ通知アリ

右告示ス

告第七十一号

明治十九年五月七日

靜岡縣下ニ到リ遊藝師匠等營業ヲナスモノ課稅方之儀
 本年二月告第三十九号ヲ以テ告示及ヒ置候處今般本籍管
 廳ヘ納稅シタル証左ヲキモノニ限リ課稅シ且滞在營業
 セントスル者ハ其地戸長役場ヘ届出ヘキ旨更ニ該縣ヨ
 リ通知アリ
 右告示ス
 甲号外
 明治十九年二月六日
 郡部營業稅雜種稅規則別紙ノ通改定シ本年四月一日ヨ
 リ施行ス

但明治十七年六月十九日甲号外布達ハ本文施行ノ日
 ヨリ廢止ス
 右布達候事

(別紙)

營業稅雜種稅規則

第壹章

納期

第壹條 年稅徵收期限前半年度分ハ四月一日ヨリ五月
 十五日限リ後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月十五日
 限前納スベシ其新規開業ニ係ル者ハ届出ノ日ヲ以該
 半年度分ヲ納稅シ築漁業ハ開業ノ節全額納稅スベシ

第貳條 月稅徵收ノ期限ハ每月十日限り前納スヘシ其
新規開業ニ係ルモノハ届出ノ日ヲ以テ該月分ヲ納稅
スヘシ

第三條 日稅及揚火稅徵收ノ期限ハ開場ノ初日ニ於テ
納稅スヘシ

第四條 屠畜稅ハ翌月五日限り納稅スヘシ

第貳章 雜件

第五條 左ノ種類ニ限郡役所ニ於テ鑑札ヲ附與スヘシ
行商(警察署於テ鑑札附與スルモノヲ除ク) 理髮人 遊藝師匠
幫間 乘馬 漁業人 築漁業場

鳥獵人 駝馬

第六條 鑑札ハ賣買貸借ヲ許サズ改名代換轉居轉業ノ
節ハ書換ヲ請ヒ水火盜難過誤等ニ依リ失却毀損スル
モノハ再渡ヲ請ヒ廢業ノ節ハ返納スヘシ

但鑑札ヲ附與セサルモノト雖モ改名代換轉居轉業
ノ節ハ郡役所ヘ届出ヘシ

第七條 商業工業料理屋飲食店湯屋傭人受宿ノ營業者
ハ左ノ標札ヲ製シ戸長役場ノ檢印ヲ受ケ店頭ニ掲出
スヘシ
但標札ハ年々書換ヲ爲スモノトス

第何等

(不課税者ハ免稅ト記スベシ)

寸法 縦一尺五寸
横四寸

何々業

何郡何村何番屋敷

何々

口檢印

何ノ某

(業名ヲ列記スベシ)

第八條 理髮人遊藝人相撲行司俳優翫間藝妓ハ納稅上辨理ノ爲メ居住地ニ納稅引受人ヲ定メ双方連署ノ上郡役所へ届出ヘシ

第九條 築漁業ヲ爲スモノハ願書ニ圖面相添出願スベシ縣廳ニ於テハ實地ヲ檢査シ支障ナキ場所ハ之ヲ許

可スルモノトス

第十條 漁業採藻場ノ從前區域ヲ定メタル慣行アル場所ハ願書ニ圖面相添願出ヘシ縣廳ニ於テハ實地ヲ檢シ渾テ障得ナキニ於テハ貸與ヲ許可スルモノトス

第十一條 漁業採藻場ノ境界ハ從來ノ慣行ヲ以テ定ムト雖モ若シ障得アルニ於テハ其利害ヲ審査シ舊線ヲ改ルコトアルベシ

第十二條 漁業採藻場貸與ノ許可ヲ受クレハ郡吏員戸長立會境界標ヲ建設シ更ニ明瞭ナル圖面ヲ製シ差出スヘシ

第十三條 海面及河川貸與中ト雖モ公利公益ヲ起ス爲
メ其區域ヲ狹メ或ハ貸與ヲ停止スルモ借區者ニ於テ
之ヲ拒ムヲ得ス

第十四條 諸税ノ内脱税者アリテ他日發覺スルキハ脱
税年間ノ税額ヲ一時ニ追徴スヘシ

第三章 調 査

第十五條 商業工業料理屋飲食店傭人受宿ノ營業者ハ
其税率ノ種別ニ由リ帳簿ヲ製シ日々其金員等ヲ記載
シ置一周年度前年四月ヨリ
其年三月マテヲ集計シ郡長宛ノ届書兼業
者ハ
業日毎ニ區
別スヘシヲ作り毎年四月十日限り戸長役場ヘ差出ス

ヘシ

第十六條 戸長役場ニ於テハ前條届出ノ金員等ヲ檢閲
シ不相當ナキモノト認ムルキハ營業ノ種類ヲ區別編
輯シ總計ヲ付シテ毎年四月三十日限り郡役所ヘ差出
スヘシ

但免税スヘキモノハ其事故ヲ詳記シ本文ト同時ニ
差出ヘシ

第十七條 郡役所ニ於テハ書記ヲ派遣シ各營業者ノ營
業ニ關スル諸帳簿ヲ徴シ賣上金高等ノ當否ヲ檢査ス
ヘシ

但本文検査ニ際シ主務縣官監査トシテ立會スルヲ
アルヘシ
第十八條 郡役所ニ於テハ年税月税日税等ヲ以テ徵收
スル員數ヲ取調豫算簿ヲ製シ毎年六月三十日限縣廳
ヘ差出スベシ
第十九條 縣廳ニ於テハ前條豫算簿ヲ調査シ郡部會ニ
附シテ課額ヲ議定セシムルモノトス
甲號外 明治十九年二月六日
明治十五年當縣甲第四百四十八号布達郡部地租割稅則別
紙ノ通改正ス

右布達候事

(別紙)

地租割稅則

第一條 地租ハ土地ニ賦課スルモノトス
第二條 地租割ハ其年七月三十一日現在ノ地租額ニ據
リ賦課シ之ヲ兩度ニ徵收ス其課額稅率ハ郡部會ノ議
決ヲ經テ別段之ヲ布達ス
第三條 前條期日ニ租額定ラサル土地ハ確定ノ時ニ於
テ之ヲ賦課徵收スヘシ
第四條 納期ヲ定ムル左ノ如シ

第一期 三月三十一日限り五分通前納

第二期 九月三十日限り五分通前納

第五條 税金徴収ノ後地所ノ變換ニ依リ地租ノ増減ヲ生スルコトアルモ該半年度中ハ追徴返付セス

甲號外

明治十九年二月六日

明治十七年^{五月}當縣甲號外布達郡部戸數割規則中第六條左ノ通改正シ第七條ハ刪除ス

郡部戸數割規則

第六條 納期ヲ定ムル左ノ如シ

第一期 三月三十一日限り五分通前納

第二期 九月三十日限り五分通前納

右布達候事

甲号外

明治十九年二月六日

區部營業稅雜種稅規則別紙ノ通改定シ本年四月一日ヨリ施行ス

但明治十七年六月十九日甲号外布達ハ本文施行ノ日

ヨリ廢止ス

右布達候事

(別紙)

營業稅雜種稅規則

第壹章 納 期

第壹條 年稅徵收期限前半年度分ハ四月一日ヨリ五月十五日限り後半年度分ハ十月一日ヨリ十一月十五日限り前納スヘシ其新規開業ニ係ルモノハ届出ノ日ヲ以テ該半年度分ヲ納稅スヘシ

第貳條 月稅徵收ノ期限ハ毎月十日限り前納スヘシ其新規開業ニ係ルモノハ届出ノ日ヲ以テ該月分ヲ納稅スヘシ

第三條 日稅及揚火稅徵收ノ期限ハ開場ノ初日ニ於テ納稅スヘシ

第四條 屠畜稅ハ翌月五日限り納稅スヘシ

第貳章 雜 件

第五條 左ノ種類ニ限り區役所ニ於テ鑑札ヲ附與スベシ

- 行 商 (警察署於テ鑑札附與スルモノヲ除ク) 理髮人 遊藝師匠
- 幫 間 乘 馬 漁業人 烏獵人
- 駝 馬

第六條 鑑札ハ買賣貸借ヲ許サズ改名代換轉居轉業ノ節ハ書換ヲ請ヒ水火盜難過誤等ニ依リ失却毀損スルモノハ再渡ヲ請ヒ廢業ノ節ハ返納スヘシ

但鑑札ヲ付與セザルモノト雖モ改名代換轉居轉業ノ節ハ區役所へ届出ヘシ

第七條 商業工業料理屋飲食店湯屋傭人受宿ノ營業者ハ左ノ標札ヲ製シ戸長役場ノ檢印ヲ受ケ店頭ニ掲出スヘシ

但標札ニ等級及ヒ賣上金又ハ口錢等ヲ記入スルモノハ其金高等前々年度分ヲ以テシ年々書換ヲ爲スモノトス

乙 甲 第 何 等

賣上金若干

(等級及税率ノ種別ニ依リ賣上金又ハ口錢等ヲ記シ不課稅者ハ免稅ト記スベシ)

寸法 縦一尺五寸 横四寸

何々業

何區何町何番屋敷

何々

口檢印

何ノ某

何々

(業名ヲ列記スベシ)

第八條 理髮人遊藝稼人相撲行司俳優習間藝妓ハ納稅上辨理ノ爲メ居住地ニ納稅引請人ヲ定メ双方連署ノ上區役所へ届出ヘシ

第九條 諸稅ノ内脫稅者アリテ他日發覺スルキハ脫稅年間ノ稅額ヲ一時ニ追徵スベシ

第三章

調 査

第十條 商業工業料理屋飲食店傭人受宿ノ營業者ハ其

稅率ノ種別ニ由リ帳簿ヲ製シ日々其金員等ヲ記載シ
置一周年度前年四月ヨリヲ集計シ區長宛ノ屆書兼業者ハ業者目
其年三月マテス毎ニ區別ヲ作り毎年四月十日限リ戸長役場へ差出ベ
シ

第十一條 戸長役場ニ於テハ前條届出ノ金員等ヲ檢閱
シ不相當ナキモノト認ムルキハ營業ノ種類ヲ區別編
輯シ總計ヲ付シテ毎年四月三十日限リ區役所へ差出
ベシ
但免稅スベキモノハ其事故ヲ詳記シ本文ト同時ニ
差出ベシ

第十二條 區役所ニ於テハ書記ヲ派遣シ各營業者ノ營
業ニ關スル諸帳簿ヲ徵シ賣上金高等ノ當否ヲ檢査ス
ベシ

但本文檢査ニ際シ主務縣官監査トシテ立會スルコ
アルベシ

第十三條 區役所ニ於テハ年稅月稅日稅等ヲ以テ徵收
スル員數ヲ取調豫算簿ヲ製シ毎年六月三十日限リ縣
廳へ差出ベシ

第十四條 縣廳ニ於テハ前條ノ豫算簿ヲ調査シ區部會
ニ附シ課額ヲ議定セシムルモノトス

甲號外

明治十九年二月六日

明治十五年當縣甲第四百四十六號布達區部地租割規則左ノ通改定ス

右布達候事

地租割規則

第一條 地租ハ土地ニ賦課スルモノトス

第二條 地租割ハ其年七月三十一日現在ノ地租額ニ據リ賦課シ之ヲ兩度ニ徵收ス其課額稅率ハ區部會ノ議決ヲ經テ別段之ヲ布達ス

第三條 前條期日ニ租額定ラザル土地ハ確定ノ時ニ於

テ之ヲ賦課徵收スベシ

第四條 納期ヲ定ムル左ノ如シ

第一期 三月三十一日限リ五分通前納

第二期 九月三十日限リ五分通前納

第五條 稅金徵收ノ後地所ノ變換ニ依リ地租ノ増減ヲ生スルコトアルモ該半年度中ハ追徵返付セス

甲號外

明治十九年二月六日

客年月七甲號外布達區部家屋稅規則中第四條左ノ通改正ス

右布達候事

家屋稅規則

第四條 納期ヲ定ムル左ノ如シ

第壹期 三月三十一日限リ五分通前納

第貳期 九月三十日限リ五分通前納

○會計

告第六十七號

明治十九年四月廿七日

閣令第三號ヲ以テ歲入歲出出納規則制定セラレ候ニ付
テハ右ニ關シ心得ヘキ事項左ノ如シ

一 歲入歲出ノ現金ハ金庫ニ於テ直ニ收納支出ス

二 金庫ト稱スルハ大藏省金庫局其出張所及國庫金取

扱所若クハ現金仕拂所ヲ云フ

三 金庫ノ出納ハ大藏大臣ノ定ラレタル開庫時間ニ限

ル

四 租稅ノ徵收ハ戸長若クハ納稅者ニ對シ郡區長徵稅

令書ヲ發ス

五 戸長ニ於テ徵稅令書ヲ受タルトキハ納稅者ニ對シ

徵稅傳令書ヲ發ス

六 租稅外收入ノ徵收ハ納人ニ對シ會計主務官納額告

知警ヲ發ス

但納人數多アリテ其組合代理ヲ撰ミ之ニ委託シ
 テ納金ヲナサントスルモノアルトキハ代理納人
 ニ對シテ納額ヲ集計シタル納額告知書ヲ發ス
 七 租稅外收入ト稱スルハ手数料ノ性質ヲ以テ徵收ス
 ル諸收入官有ノ財產物品ヨリ生スル諸收入官業益
 金罰金科料沒收金ノ類諸貸付若クハ過渡等ノ返納
 金特別ノ事務ニ宛ル諸寄付金等ヲ云フ
 八 納人ニ於テ徵稅令書若クハ納額告知書ヲ受ケルト
 キハ該書ニ接續シタル上納書正副共年月日及住所
 氏名ヲ記入名下ニ捺印シ(見認印又ハ花押等ニテ差

支ナシ徵稅令書若クハ納額告知書ト共ニ之ヲ現金
 ニ添テ金庫ヘ納付ス
 九 金庫ハ納人ヨリ現金ヲ上納書ニ添ヘ徵稅令書若ク
 ハ納額告知書ト共ニ納付スルトキハ其令書若クハ
 告知書ニ領收ノ年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ上
 納書ト接續ノ所ヘ割印ノ後之ヲ切斷シ其令書若ク
 ハ告知書ハ之ヲ納人ヘ還付ス
 十 納稅者ニ於テ徵稅傳令書ヲ受タルトキハ現金ニ傳
 令書ヲ添ヘ戸長役場ニ納付ス
 十一 戸長ハ納稅者ヨリ現金ヲ徵稅傳令書ニ添ヘ納付ス

ルトキハ傳令書ニ接續シタル税金領收證用紙ニ金員及領收ノ年月日ヲ記入シ氏名ノ下ニ捺印シ傳令書領收證ト接續ノ所ヘ割印シテ之ヲ切斷シ領收證ヲ納稅者ニ交付ス

十二 納人ニ於テ税金ノ過納誤納等ヲ發見スルトキハ郡區長ヘ其理由書ヲ出シテ下戻ヲ請求ス

十三 國債元利年金恩給經費等ノ支出ハ受取人ニ對シ會計主務官仕拂切符ヲ發ス

十四 金庫ハ仕拂切符ノ所有者ヨリ仕拂切符ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求セラレタルトキハ即時之ヲ變ニ

其發行廳ヨリ送付ヲ受タル案内書ニ照合シ帳記ノ后直ニ仕拂切符表面ノ金額ヲ交付ス

十五 仕拂期限ヲ經過シタル仕拂切符ノ書換ヲ其所有者ヨリ請求スルトキハ會計主務官ハ更ニ仕拂切符ヲ製シテ舊仕拂切符ト交換ス

右告示ス

○警 察

甲第十二號

明治十九年二月二日

明治十八年十一月十一日 本縣甲第百六號布達違警罪目第一條ニ

左ノ二項ヲ追加ス

第十三項 田圃蟲害豫防規則ニ違背シタル者

第十四項 蠶絲業組合ニ加入セスシテ營業ヲ爲シ又ハ不正ノ繭絲ヲ販賣シタル者

右布達候事

甲第十四號

明治十九年二月八日

新聞紙雜誌雜報類ノ發賣所發賣人ヨリ之レカ受賣營業ヲ爲サントスル者ハ其族籍住所氏名及新聞紙ノ種類ヲ記シ開業前ニ所轄警察署ニ届出ツヘシ其住所等ヲ轉換シ又ハ新聞紙ノ種類ヲ増減シ及廢業シタル時ハ速ニ其

旨ヲ届出ツヘシ

但従前ノ營業者ハ二月廿日迄ニ本文ノ届出ヲ爲スヘシ

右布達候事

甲第二十四號

明治十九年三月十三日

明治十八年一月當縣甲第一号布達屠獸取締規則第七條但書及第八條第九條中左ノ通改正ス

右布達ス

第七條

但一ケ月中屠殺シタル獸類牝牡ノ別及其斤量並一斤ノ賣鬻代價ヲ記シ翌月五日限り所轄警察署又ハ

分署へ差出ヘシ

第八條中牛羊豚トアルヲ牛馬羊豚ト改ム

第九條中孕牛病獸トアルヲ孕牛馬病獸ト改ム

甲第二十五号

明治十九年三月十三日

明治十八年一月當縣甲第二号布達賣肉取締規則第一條第

二條第三條第九條及願書式左ノ通改正ス

右布達ス

第一條 食用ニ充ツヘキ獸肉ハ左ノ種類ノ外一切販賣

スルヲ許サス

第一類 牛馬羊豚

第二類 野獸

第二條 賣肉營業ヲ爲サントスル者ハ別紙書式ニ準シ

所轄警察署ニ願出許可ヲ受クヘシ

但分署所轄内ノモノハ該署ヲ經由スヘシ

第三條 居商ヲ爲ス者ハ左ノ雛形ノ看板ヲ製シ警察署

ノ檢印ヲ受ケ之ヲ店頭ニ掲ケ置クヘシ

二尺

何國何郡何町何番屋敷

牛馬羊豚

肉商氏名

野獸

第九條 檢印ナキ牛馬羊豚肉若クハ腐敗ノ諸肉ヲ販賣
シ又ハ各種ノ肉ヲ混淆販賣スヘカラス

書式

賣肉營業願

何郡何村何番屋敷居住(寄留)

士族(平民)

氏名

右ハ今般御規則ヲ遵守シ牛馬羊豚肉販賣營業仕度候間御
許可被成下度此段奉願候也

右

明治十九年三月 日

氏名印

取締(副取締)

氏名印

愛知縣

何警察署

御中

與書ハ一般ノ例ニ依ルヘシ

甲第三十四號

明治十九年四月十二日

湯屋取締規則別紙之通相定候條從前營業ノ者ハ本月中
ニ願出許可ヲ受クヘシ

但此際願出ノ者ニ限り取締ノ連署ヲ要セス
右布達ス

(別紙)

湯屋取締規則

- 第一條 湯屋ノ營業ヲナサントスルモノハ別紙第一号
書式ニ準シ構造圖面ヲ添へ所轄警察署分署所轄内ノモ
ハ該署ヲ經由ニ
願出許可ヲ受クヘシ
- 第二條 湯屋ハ左ノ各項ヲ遵守シ構造スルニアラサレ
ハ營業ヲ許サス
- 一 浴場ハ可成空氣ノ流通ヲ良クスヘシ

二 火焚場ノ天井裏及烟出シハ不燃質ノ物ヲ用フヘ
シ

但烟突ヲ設クルモノハ熱氣ノ外部ニ透ラサル
爲メ其構造ヲ堅牢ニシ燃質物ニ接近セサル様
装置スヘシ

三 火消所並灰置所ハ深サ三尺以上ノ坑穴ニナスカ
若クハ石煉化石等ノ類ヲ以テ構造シ不燃質物ニ
テ蓋ヲ設クヘシ

四 男女兩浴ヲ設クルモノハ其區域ヲ立テ互ニ見透
カサレ様見隠シヲ施スヘシ

五外部ヨリ裸体ヲ見透カサ、ル様見隠シテ設クヘシ

第三條 構造落成ノ上ハ所轄警察署又ハ分署ニ届出検査ヲ受クヘシ

但建替若クハ模様ヲ變換セシキモ本文ニ準シ検査ヲ受クヘシ

第四條 代替並譲受ノキハ別紙第三号書式ニ準シ願出ヘシ

但廢業讓渡改氏名等ハ其都度届出ヘシ

第五條 火焚場烟突等ハ時々掃除シ火災ノ虞ナキ様注

意スヘシ

第六條 火焚場及火消所灰置所近傍ニハ木片等火ノ付易キ物ヲ置クヘカラス

第七條 烈風ニシテ危険ノ虞アル節ハ臨時休業ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 浴客ノ衣服類ハ鎖輪アル戸棚等ニ容レシメ盜難ノ虞ナキ様看護スヘシ

第九條 湯屋ハ警察署ノ區域ニ從ヒ適宜組合ヲ設ケ正副取締各一名副取締ハ便宜置カサルモ妨クナシヲ撰舉シ該警察署ニ届出認

可ヲ受クヘシ

但營業者寡少ノ場所ニ在テハ警察署ノ認可ヲ受ケ
組合ヲ設ケサルコト得

第拾條 取締ハ營業上ノ願伺届書ニ連署シ其他諸事ハ
取締ヲナシ違犯者ナカラシムルヲ要ス

但遺留品其他至急ヲ要スル届書ハ連署セサルモ妨
ケナシ

第拾一條 組合取締上ニ關スル必要ノ事項ハ豫メ規約
ヲ設ケ所轄警察署ニ届出認可ヲ受クヘシ

但分署所轄内ノモノハ該署ヲ經由スヘシ

第拾二條 組合ニ關スル諸費用ハ協議ヲ以テ収支スル

モノトス

第拾三條 警察官吏ヲシテ臨檢セシムルコトアルヘシ

第拾四條 此規則ニ違背シタルモノハ違警罪ヲ以テ罰

セラル、ノ外其情狀ニ依リ營業ヲ停止スルコトアルヘ
シ

第一号書式

湯屋營業願

何區何村何番屋敷居住(寄留)

士族(平民)

氏 名

年 齡

右ハ今般御規則ヲ遵守シ湯屋營業仕度ニ付御許可被成下
度構造圖面(藥湯ハ賣藥許可
証ヲ添付スヘシ)相添此段奉願候也

右

年 月 日

氏 名 印

取締(副取締)氏 名 印

愛知縣

何警察署

御 中

前書之通願出候付致與書候也

何郡某村

戸長 氏 名 印

年 月 日

第二号書式

湯屋營業願

何郡何村何番屋敷居住(寄留)

士族(平民)

氏 名

年 齡

今般戸主實父某死亡ニ付自分相續引續湯屋營業致度今
般何郡何番屋敷何某へ御許可相成居候湯屋ヲ讓受ケ從

前ノ場所ニ於テ營業致度候間更ニ御許可被成下度此段
奉願候也

年月日

右

氏 名 印

取締(副取締) 氏 名 印

愛知縣

何警察署

御 中

前書之通願出候付致與書候也

何郡何町

年月日

戸長 氏 名 印

甲第三十七號

明治十九年四月廿四日

人民私費架設ノ橋梁渡津警部巡查等通行ノ際制規アル
服着用ノ節并看守押丁ハ囚人ヲ護送通行スルキニ限リ
該賃錢請求相成ラヌ

但囚人ノ賃錢ヲモ請求相成ラヌ

右布達ス

甲第三十九号

明治十九年四月廿六日

明治十八年^{十一月}當縣甲第百六號布達違警罪罰則第二條第
十三項中及車稅則ノ四字ヲ删除シ同第一條第十二項ヲ

左ノ通改正ス

第十一項 茶業組合ニ加入セズシテ營業ヲ爲シ又ハ該營業者ニシテ不正ノ茶ヲ製造シ若クハ賣買シタル者

右布達ス

甲第四十六號

明治十九年五月廿五日

明治十六年十月甲第七拾五號布達巡查召募規則別紙ノ通改正ス
右布達ス

巡查召募規則

第一條 巡查ハ検査ノ上採用ス左ノ各項ニ觸レサルモノハ志願スルヲ得

一年齡 滿二十年以上四拾年以下ニシテ徵兵現役

ノ徵集ニ關係ナキ者

一 身體 曲尺五尺以上ノ者

一 身體 強壯ニシテ職務上ニ害アル疾病ナキ者

一 滿三年以上勤續差間ナキ者

一 讀書普通ノ文章ヲ讀ミ得ル者

一 作文普通往復文ヲ綴リ得ル者

第二條 検査合格ノ者ト雖モ左ノ各項ニ觸ル者ハ採

用セス

- 一 品行方正ナラサル者
- 一 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者
- 一 盜罪贓罪詐欺取財ノ罪ニ付刑ニ處セラレシ者
- 一 貨幣偽造ノ罪印章文書偽造ノ罪及偽證誣告ノ罪ニ付刑ニ處セラレシ者
- 一 賭博犯ニ付懲罰ニ處セラレシ者
- 一 巡查懲罰例及官吏懲戒例ニ依リ免職ノ後二ケ年ヲ經サル者
- 一 巡查誓約年間自己ノ便宜ニ依リ辭職ノ後壹ケ年ヲ

經サル者

第三條 巡查ヲ志願スル者ハ別紙書式ニ準ヒ其志願書ニ履歷書ヲ添ヘ警察本署ヘ差出スヘシ但遠隔ノ地居住ノ者ハ便宜最寄警察署ヘ出願スルヲ得

第四條 身元引受人ハ親族故舊其他何ノ緣故ヲ問ハス本縣下ニ居住シ正確ナル者ニ限ルヘシ
(別紙)

書式 (用紙半紙)

巡查志願書

何府何國何郡何町何番邸華士族平民

何某何男又ハ叔甥兄弟孫

(何府何國何郡何町何番邸某方寄留)

志願人 何 某

年號月生何年何ヶ月

何府何國何郡何町何番邸華士族平民

(何府何國何郡何町何番邸某方寄留)

身元引受人 何 某

右ハ本縣巡查奉職仕度候ニ付御檢査ノ上御採用被成下
度最モ御採用ノ上ハ本人一身ニ關スル義ハ何事ニ限ラ

ス引受人ニ於テ引受候間此段奉願候也

年 月 日

右

何 某 印

右

何 某 印

愛知縣令何某殿

前書願之趣相違無之候條與書候也

何郡何區何村戸長

年 月 日

何 某 印

(別紙)

履歷書

何府華士族平民元何藩

何 某

明治年月日

一何々申付候事

何省廳

明治年月日

一補何々

何府縣

明治年月日

一任何々

何々

明治年月日

一免本官

何々

明治年月日

一何々ニ付賞罰

一何年何月何校ニ於テ又ハ何某ニ就キ何學漢修業又ハ

何職ニ從事何年何月何々ノ事故ニ依リ退校又ハ其業

ヲ廢ス云々

右ノ通ニ候也

年 月 日

何 某印

甲第五拾一號

明治十九年六月十日

明治十八年^{十一月}甲第百六號布達違警罪目中左ノ一項改正

ス

第二條

第六道路又ハ店前ニ於テ裸體又ハ袒裼シ或ハ股ヲ露シタル者

右布達ス

甲第五十六號

明治十九年六月廿三日

明治十二年甲第四拾七號布達火災届手續左之通改正ス
右布達ス

火災ノ節届方手續

一 火災ニ罹リタルモノハ其旨書面又ハ口頭ヲ以テ速ニ

所轄警察署分署若クハ交番所ノ内へ届出ヘシ

但現場へ警察官吏出張候節ハ届出ルニ及ハス

乙第五號

明治十九年一月十六日

郡區役所

明治十八年^{十二月}甲第百廿三號ヲ以テ斃牛馬取締規則第一條及第六條改正候付テハ該願書ハ直ニ本廳へ差出答之處調査上ノ都合有之候條奥書濟ノ上ハ所轄警察署又ハ分署へ送付可致此旨相達候事

告第三拾七號

明治十九年二月二十日

明治十八年^{八月}當縣第百四拾四號告示海軍艦内教授役警

吏筆記採用規則中左之通改正刪除セラル
右告示ス

第貳條 海軍艦内教授役海軍警吏海軍筆記ハ鎮守府ニ
徵募ス但徵募ヲ要スルハ鎮守府豫メ廣告ス

第三條 但書ヲ廢ス

第八條 學科試験ノ科目ハ左ノ如シ

艦内教授役

講義 漢文歴史類

作文 漢文通俗文

數學 平算代數

書法 楷行

警吏

讀書 漢文歴史類

作文 公用文通俗文

算術 加減乘法

法律講義 刑法治罪法

筆記

讀書 漢文歴史類諸規則書類

作文 公用文通俗文記事文

算術 平算

書法 楷行

第九條 身體検査ハ鎮守府或ハ東京ニ於テ海軍尉官一

名會同シ海軍警官之ヲ行フ

第十條 學科試験ハ鎮守府或ハ東京ニ於テ海軍尉官二

名會同シ之ヲ行フ

第十一條 海軍部内ノ志願者ハ第一號ノ願書ニ履歷書

ヲ添へ所轄長ヲ經テ之ヲ鎮守府ニ出ス可シ
第拾三條 華士族平民ノ志願者ハ第二號ノ願書ニ履歷
書ヲ添へ所轄府縣廳ヲ經テ之ヲ鎮守府ニ出ス可シ
第一號 書式中主計本部長ノ五字ヲ删除ス
第二號 書式中海軍主計本部長ノ七字ヲ删除ス
告第七十八号 明治十九年五月三十一日
知多郡常滑分署ヲ廢シ交番所ヲ置キ全郡内海村へ更ニ
分署ヲ設置内海分署ト稱シ半田警察署ニ屬セシム
右告示ス

○諭 達

明治十九年三月十三日

○ 管内ニ於テ追々天然痘患者發生候處現ニ該病ニ罹ルコ
トヲ知ルモ貧困等ノ故ヲ以テ醫師ノ診療ヲ乞ハス或ハ
無稽ノ説ヲ唱へ之ヲ隱蔽シ豫防消毒等ヲ等閑ニ附スル
トキハ必ス病毒ヲ他ニ傳播シ劇惡ノ性ニ在リテハ患者
一人ノ爲メニ衆多ノ子女ヲ殘害シ實ニ懼ルヘキ疾患ニ
付此際種痘ノ濟否ヲ問ハス左ニ掲クル症狀ヲ現ハス者
ハ假ヒ輕症ナルモ速ニ醫師ニ診斷ヲ乞フベシ
一 熱發ト發疹ヲ兼ヌル者

右諭達ス

一急卒ニ赤色ノ發疹ヲ生スル者
 一急性ニ水胞疹若クハ膿胞疹ヲ發スル者
 一熱發薦骨部ト四肢ノ疼痛及發疹ヲ併發スル者

○雜部

甲第四號

明治十九年一月廿二日

明治十五年五月當縣甲第九十七号布達市街掃除規則第三條左ノ通改正ス

第三條 炎天及烈風ノ節ハ度々水ヲ路上ニ撒布スヘ

シ但十二月ヨリ二月ニ至ル三ヶ月間ニ限り午前第九時以前午後第三時以後ハ水ヲ撒布スルヲ得ス
 但書如故

右布達候事

甲第三拾二號

明治十九年四月七日

縣下尾張國五條川及ヒ新川筋左ノ箇所ニ於テ漁魚ヲ禁止ス

五條川

順禮橋ヨリ新川落口マテ

新川

伏屋橋ヨリ日ノ出橋マテ

右布達ス

甲第三拾五號

明治十九年四月十六日

明治十八年當縣甲第百拾四号布達在監人差入物定限中
書籍ノ頂左之通改正

未決者ノ部
懲治人ノ部

已決囚ノ部

一書籍

但修身又ハ營業ニ
必要ナルモノ

一ヶ月拾冊以內

右布達ス

甲第四拾八号

明治十九年五月廿八日

舊虛無僧ノ如キ裝飾ヲ爲シ市街村落ヲ徘徊シ又ハ門戸
ニ立テ吹笛シ金錢ヲ受クル等ノ所業一切相成ラス

右布達ス

甲第六拾三号

明治十九年七月十九日

管下渥美郡豊橋官下町袋町東町八幡町川毛町土手町ノ
六ヶ町ヲ八町へ合併八町ト稱ス

右布達ス

乙第九号

明治十九年二月三日

郡區役所

有害鳥獸除却ノ爲メ威銃免許ノ者へハ自今郡區役所ニ
於テ左ノ雛形ニ由リ銃札調製下付スヘシ此旨相達候事
但銃砲携持ノ節ハ必ス右銃札携帶スヘキ旨示達スヘ

紙札厚紙製

曲尺二寸

第何号

自明治何年何月

至全何年何月

表 威銃免許鑑札

愛知縣何國何郡何村番地

姓名

シロノ

裏

明治何年何月何日

愛知縣何區郡役所

告第六拾号

明治十九年四月七日

本年二月勅令第一号ヲ以公文式發行相成候處猶人民一

般周知方便宜ノ爲メ更ニ印刷ノ上各町村へ一部ツ下
付ス
右告示ス

一 時

○ 會 議

甲 第 壹 号 十 九 年 度 備 荒 儲 蓄 金 收 支 預 算 ヲ 定 ム

甲 第 貳 号 臨 時 縣 會 及 區 部 郡 部 兩 會 ヲ 開 ク

甲 第 八 号 臨 時 縣 會 及 區 部 郡 部 兩 會 ヲ 閉 ッ

甲 第 拾 三 号 十 七 年 度 地 方 稅 支 出 豫 算 不 足 補 充 並 同 年 度 收 入

追 加 等 ヲ 定 ム

甲 第 四 拾 四 号 十 九 年 度 地 方 稅 收 出 追 加 豫 算 ヲ 定 ム

乙 第 三 拾 六 号 二 十 年 度 第 一 部 歲 入 豫 算 書 取 調

乙 第 四 拾 二 号 二 十 年 度 第 一 部 歲 入 豫 算 中 過 年 度 二 屬 ス ル 仕 譯

書差出方

乙第五拾号 十九年度地方税區町村立學校補助費及生徒賞與費分賦

○公證公賣

告第三号 山口縣都濃郡長穗村戸長役場於テ公證割印簿錯雜ニ付更正

告第拾四号 京都府外十縣下戸長役場ノ公證割印簿更正

告第廿三号 京都府外六縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第廿七号 管下各郡下戸長役場ノ公證割印簿更正

告第三拾六号 大坂府外十一縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第四拾一号 北海道外五縣下戸長役場ニ於テ公證割印簿更正

告第四拾三号 大坂府外十三縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第四拾六号 群馬縣外七縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第四拾九号 大坂府外九縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第五拾九号 全上

告第六拾四号 富山縣外五縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第六拾六号 札幌本廳外八縣下戸長役場於テ公證割印簿更正

告第七拾五号 管下各郡戸長役場ノ公證割印簿更正

告第八拾号 愛知郡熱田富江町戸長役場於テ公證割印簿更正

告第八拾二号 東春日井郡志段味村戸長役場於テ公證割印簿更正

正

告第九拾号 海西郡開治村戸長役場於テ公證割印簿更正

告第九拾壹号 管下各郡戸長役場於テ公證割印簿更正

告第百二号 東春日井郡田樂村戸長役場於テ公證割印簿更正

○船 舶

告第九拾七号 横濱區虎列刺病蔓延ニ付同港出發ノ船舶ハ検査規則ヲ實施ス

規則ヲ實施ス

告第九拾九号 三重山口ニ縣下ヲ虎列刺病流行地ト認定ニ付全港ヲ發スル船舶ハ検査規則ヲ施行ス

港ヲ發スル船舶ハ検査規則ヲ施行ス

告第百六号 神奈川縣外八縣虎列刺病流行地ト認定

甲 號 外 大坂並兵庫縣下ヨリ發スル船舶ハ検査スヘキヲ沿海町村ヘ達

○兵 事

乙 第 壹 号 海軍兵學校生徒召募ニ付願書々式

乙 第 三 拾 五 号 本年當縣現役兵入營

告 第 二 号 海軍兵學校生徒召募ニ付願書

告 第 四 号 陸軍獸醫部講習生徒召募ニ付願書差出方ノ延期

告 第 六 号 海軍機關學校生徒撰舉出願方

告 第 八 号 陸軍士官學校生徒全幼年生徒召募ニ付願書差出方

告第拾七号 第三軍管徵兵人員配當表

告第拾八号 小牧村第六師管徵兵署ヲ閉ツ

告第拾五号 愛知縣徵兵署ヲ閉ツ

告第拾六号 陸軍教導團各兵科生徒並喇叭生徒召募ニ付願書

差出方

○ 衛生

甲第拾三号 本縣監獄本署内傳染性流行熱ノ景況及其症狀

甲第拾九号 京都大坂兩府及兵庫縣下虎列刺病流行ニ付此際

吐瀉ノ二症ヲ兼ル者速ニ醫ノ診斷ヲ請ハシム

甲第拾二号 此際吐瀉二症ニ罹ル者及單ニ暴瀉スル者ヲ診斷

シタル醫ハ便宜巡查及交番所等ニ届出サシム

甲第拾八号 甲第拾九號達祭禮演劇其他多衆群集ノ義解禁

乙第拾七号 吐瀉ノ二症ヲ兼ル者醫師於テ診定ヲナサシム

告第拾号 醫學學校於テ自費生徒募集ニ付試驗ノ上入學ヲ許

ス

告第拾七号 醫術開業免狀紛失

告第拾四号 京都大坂兩府及兵庫縣下虎列刺病蔓延ニ付同縣

下諸港ヲ經テ來着スル船舶ニ對シ該檢査規則ヲ

實施ス

告第拾四号 愛知郡師崎村ノ内人民ノ交通ヲ遮斷ス

告第百三號 碧海郡定國村於テ人民ノ交通ヲ遮斷ス

告第百五號 全上遮斷ヲ解ク

告第百七號 愛知郡熱田羽城町於テ人民ノ交通ヲ遮斷ス

告第百八號 長野縣下於テ虎列刺病蔓延ノ景況ニ付全地ヨリ

乙 號 外 來ル者豫防規則ニ仍リ檢疫セシム
虎列刺病發生豫防消毒方夫々嚴密ニ施行シ且病
者ノ隱蔽ヲ防カシム

○諸 稅

甲第拾六號 區部地租割家屋稅々率及郡部地租割

甲第拾三號 舊烟草五厘壹錢五錢印紙燒却ニ付賣捌殘餘ヲ還

納セシム

告第壹號 菓子製造免許鑑札紛失

告第三拾一號 賣藥行商鑑札携帶旅行ノ儘失踪

告第七拾二號 管下於テ船舶流失及盜難

告第百四號 管下於テ船舶鑑札紛失及盜難

甲 號 外 區部營業稅雜種稅課目課額

甲 號 外 郡部全上

甲 號 外 十七年度區部地方稅收入追加並十九年度地方稅

收入豫算

甲 號 外 十七年度郡部地方稅收入並十八十九兩年度地方

稅收入豫算

○ 警 察

- 甲第五拾五号 虎列刺病傳染ノ兆ヲ顯スニ付名古屋熱田及該接續市街地於テ當分多衆ノ群集ヲ禁止ス
- 告第四拾二号 大澤峯吉ノ編輯ニ係ル雜誌發賣差止メ
- 告第四拾七号 稻垣熊太郎編輯ノ雜誌出版差止
- 告第八拾一号 近八郎右衛門出版ノ柳樽ハ發賣差止
- 告第八拾三号 炭竈佐一郎編輯ノ雜誌發賣差止
- 告第八拾四号 檢疫本部ヲ縣廳内ニ置キ同支部ヲ名古屋熱田兩警察署ニ置ク

告第八拾六号

十五年以前犯罪ニ關シ名古屋警察署へ領置ノ物品下渡ノ件

告第八拾九号

半田警察署ニ檢疫支部ヲ置ク

告第九拾五号

足立重吉上田裕吉編輯ノ雜誌發賣差止

○ 雜 部

乙 第 二 号

兌換銀行券ノ内五圓券見本各郡區聯合相立見本
札下附

乙 第 拾 九 号

四月二日ヨリノ出頭時刻ヲ定ム

乙 第 廿 三 号

收稅事務監視トシテ收稅屬ノ出張ヲ解ク

乙 第 廿 七 号

郡長ノ任免

- 乙第廿八号 西春日井郡長新任
- 乙第三拾三号 丹羽葉栗郡長免官
- 乙第四拾号 丹羽葉栗郡長新任
- 乙第四拾六号 諸官員暑中休暇ヲ賜フ
- 乙第四拾七号 出頭退廳ノ時刻ヲ定ム
- 乙第四拾九号 戸籍簿下渡ニ付主任書記出頭方
- 告第五号 和田加介外五名編輯ノ雜誌發賣差止
- 告第七号 菅澤己之助外三名編輯ノ暑曆並雜誌發賣差止
- 告第九号 幡豆郡撰出縣會議員辭職シ補欠員就職ス
- 告第十号 阿部清次郎編輯ノ暑曆發賣差止

- 告第拾一号 荷積車所持ノ儘失踪
- 告第拾二号 朝倉禾積外四名編輯ノ雜誌發賣差止
- 告第拾五号 愛知縣博物館ノ探覽ヲ許ス
- 告第拾六号 本縣警察本署縣廳構内へ移轉
- 告第拾八号 飯田甚七外三名編輯ノ雜誌發賣差止
- 告第廿号 山田傳作外十三名諸鑑札紛失
- 告第廿一号 植野善左衛門所著ノ略曆發賣差止
- 告第廿四号 山田留七編輯ノ雜誌發賣差止
- 告第廿六号 縣令上京不在中大書記官縣務代理
- 告第廿八号 淺野榮藏編輯ノ雜誌發賣差止

告第三拾二号

谷口利兵衛編輯ノ雜誌發賣差止

告第三拾三号

飯田甚七編輯ノ雜誌發賣差止

告第三拾五号

第一期名古屋重罪裁判所ヲ名古屋控訴裁判所ニ

開ク

告第四拾八号

縣令歸縣ニ付大書記官縣務代理ヲ解ク

告第五拾号

名古屋控訴裁判所檢事長轉任及後任者赴任

告第六拾一号

本年告第十五号告示中日月改正

告第六拾二号

名古屋控訴裁判所檢事長着任ニ付代理ヲ解ク

告第六拾八号

名古屋控訴裁判所於テ第二期名古屋重罪裁判所

ヲ開ク

告第七拾六号

十七年度備荒儲蓄金出納精算報告

告第七拾九号

名古屋控訴院檢事長出京

告第八拾九号

愛媛縣下伊豫國元松山藩卒ハ賦與金ノ件

告第九拾二号

第一期名古屋重罪裁判所閉廳

告第九拾三号

陸軍將校服制圖例印刷頒布セヌ

告第九拾八号

名古屋控訴院檢事長歸廳

告第一百一号

勝間田縣令愛知縣知事ニ任ス

愛知縣藏版

明治十九年十月六日出版屆

全二十年四月刻成

〔不發賣〕

愛知縣藏版

名古屋本町四丁目

印行所

愛知印刷會社

